

「遺産鉄道」 小池 滋 (顧問/英文学者・東京都立大学名誉教授)

イギリスでは保存鉄道のことを“heritage railway”と呼んでいます。日本語に訳すと「遺産鉄道」です。「なんと大げさな! 偉そうな! イギリスならともかく、日本ではそんな言葉は恥ずかしくて使えないよ」という声が聞こえてきそうですね。

文化遺産というと、富士山とか桂離宮とかを思い出し、保存鉄道とは無縁と言う人もいるでしょう。でも、遺産とは、そんな床の間のお飾りだけではなくて、私たちが

日常使っている見慣れたものの中にも、すぐれた遺産がたくさんあります。

「遺産鉄道」という意味から、前世代から受け継いだ大切なものへの敬意が感じられるだけでなく、その価値を減らすことなく次世代へ譲り渡すという決意表明が読み取れます。血縁でなく鉄縁による絆で、私たちが過去の人びと、それから未来の人びとと結ばれているのだと納得がいきます。日本でも使いたい言葉ではありませんか。

平成25年度総会・見学会を開催

平成25年度の総会・見学会を10月24日(木)～25日(金)に開催し、全国から会員、オブザーバー合計86名の出席がありました。

今年度の開催地団体は東日本旅客鉄道(株)で、高崎支社が担当されました。代表幹事団体である公益財団法人交通協力会の菅 建彦理事長が7月中旬に高崎支社に挨拶に出向き、総会への準備が始まりました。その後、花上嘉成顧問(東武博物館名誉館長)と米山淳一事務局長(地域遺産プロデューサー)が「高崎車両センター高崎支所」と「上信電鉄本社」、会場の「ホテルメトロポリタン高崎」、オプション見学先の「碓氷峠鉄道文化むら」にお伺いし詳細なスケジュール等を詰めました。

開催に当たりましては高崎支社事務課長の一木 剛さん、高崎支所長の武内浩一さん、上信電鉄(株)代表取締役社長の笠原道也さん、同鉄道部次長の小島 博さん、碓氷峠鉄道文化むら館長の小坂橋 博さん他、関係の皆様や会員ボランティアの皆様のご支援・ご協力を賜りました。心よりお礼申し上げます、感謝。当日の模様を紹介いたします。

総 会

司会 顧問/名取紀之

日 時/10月24日(木)13時30分～17時まで

場 所/ホテルメトロポリタン高崎「丹頂Ⅲ」

挨拶/代表幹事団体 公益財団法人交通協力会理事長

菅 建彦

東日本旅客鉄道(株)高崎支社運輸部事務課長

一木 剛さん

出席者紹介/正会員、賛助会員、友の会、オブザーバー

総会議長/菅 建彦

事務局長/米山淳一

会計監査報告/兵東 勇(公益財団法人交通文化振興財団専務理事)

次 第/平成24年度 事業報告

平成24年度 収支報告

会計監査報告

平成25年度 事業計画

平成25年度 収支予算

平成26年度 総会開催団体「片上鉄道保存会」

開催地報告/東日本旅客鉄道(株)高崎車両センター高崎

支所長 武内浩一さん

■プレゼンテーション コーディネーター/米山淳一

碓氷峠鉄道文化むら 館長/小坂橋 博さん

真岡鉄道SL運行協議会 事務局長/中山文行さん

NPO法人加悦鉄道保存会 事務局長/荒川泰昌さん

片上鉄道保存会 代表/森岡誠治さん

九州旅客鉄道株式会社 広報室長/森 勝之さん

■交流会 ホテルメトロポリタン「丹頂Ⅰ」

挨拶/菅 建彦

歓迎挨拶/江藤尚志さん(東日本旅客鉄道(株)執行役員・高崎支社長)

見 学 会

日 時/10月25日(金)9時～12時

場 所/東日本旅客鉄道(株)高崎車両センター

上信電鉄(株)高崎車両区

*オプションで碓氷峠鉄道文化むらを見学



平成25年度の総会の開会挨拶を行う代表幹事団体 公益財団法人交通協会の菅 建彦理事長。
2014.10.24



プレゼンテーションを行うNPO法人加悦鉄道保存会事務局長の荒川泰昌さん。
2014.10.25



見学会では東日本旅客鉄道(株)高崎車両センター高崎支所を訪問。C61 20号機を間近で見学。
2014.10.25



高崎で手に入れた“犬顔”の犬釘



名取紀之
(顧問/ネコ・パブリッシング編集局長)

まさかこんなところで出会えるとは…総会会場となったホテルメトロポリタン高崎、そこにはJR東日本高崎支社のお心遣いで部品やオリジナルグッズの販売ルームが特設されていました。会場を巡っていて、思わず足を止めたのが使用済の犬釘が入られた小さなコンテナ。まさにテレバシーに導かれたように手にしたのはあるはずのない“犬顔”の犬釘でした。実は昔から“犬顔”の犬釘を蒐集しており、山のようにある中にたったひとつの“犬顔”を発見したのでその喜びは例えようありません。ちなみに、今では頭部が小判型になってしまった犬釘ですが、語源となった英語の“dog spike”が物語るように、本来は頭部が犬の顔のかたちをしておりました。皆さんもぜひ周囲の犬釘を見直してみてください。今や鉄道遺産ともいえる超貴重品ですが、ひょっとすると何十年もの時を超えて“犬顔”の犬釘が残っているかもしれませんよ。



同じく見学会会場となった上信電鉄では当年とって89歳の古典電気機関車デキのキャブに試乗!
2014.10.25

ようこそ RPSJ へ！

米山淳一（事務局長／地域遺産プロデューサー）

現在、日本鉄道保存協会(RPSJ)の事務局は、東京・有楽町駅前にあるビルの鉄道協会の部屋に“間借り”するかたちとなっており、常勤のスタッフもおりませんが、事前にご連絡いただくかたちで遠来のお客様がお出でになります。最近お越しになった皆さんをご紹介しますみましょう。

● 1. 片上鉄道保存会(正会員) 森岡さんご夫妻

平成26年3月20日(木)

アクティブな保存活動で知られる片上鉄道の中心的メンバーの森岡誠治さん森岡直子さんご夫妻が事務局においでになりました。昨年10月のJR高崎支社での総会の折、平成26年度の総会の開催団体が片上鉄道保存会に決まったこともあり、事前の打ち合わせを行いました。

例年とは異なり、同保存鉄道の運転活動日に合わせて11月1日・2日の金曜日、土曜日の開催です。5月中旬には、事務局が出向いて地元の美咲町(岡山県)役場のご担当と森岡さんと魅力満載のプログラムを組む予定です。なお、合わせてJR西日本の津山機関区も訪問予定です。ぜひ、ご参加ください。詳細は7月中旬にお知らせいたします。



片上鉄道での森岡ご夫妻。今年の総会ではお世話になります！

● 2. 元日本観光協会広報課長 島倉聖朗さんと友人の平原 匡さん(観光コンサルタント・上越市)、山縣基与志さん(糸魚川市鉄道記念館企画) 平成26年4月3日(木)

日本ナショナルトラスト在職時代にお仕事を共にした倉島さんが友人を引き連れてきました。倉島さんは現在、横浜市立大学でまちづくりを学んでおり、地域活性化を実践している各地の皆さんと強いネットワークを持っています。今回、ご紹介くださったお二人は、来年3月開業予定の北陸新幹線がらみで地域遺産(歴史・自然)を活かしたまちづくりをそれぞれ上越市(高田開城400年)と糸魚川市(鉄道記念館)で行っています。北陸新幹線が軸線となった地域活性化を期待する動きは沿線で盛んに行われていますが、大糸線キハ52形や東洋活性白土のSLなどの歴史的車両にも陽が当たるのはうれしい限りです。



事務局にお出でになった左から島倉さん、山縣さん、平原さん。

● 3. ケンさんとマーチンさん

平成26年4月9日(水)

世界鉄道遺産会議(オーストラリア・イプスウィッチ)や英国ヨーク等で知り合ったケンさんとマーチンさん(カナダ人)のお二人が来日しました。世界会議理事やアジア鉄道会議の代表を務める小田恭一さんとともに新宿でお会いしました。お二人は日本の鉄道はもちろん、歴史や文化を良くご存じで、明日は「日光号に乗って日光に行く」と笑顔。

特にケンさんは、日本各地の鉄道の撮影に何度も来られており、撮影ポイントも良くご存じでした。上越線の湯檜曾駅付近のループ線がお気にいりだそうです。また、SL保存路線も訪れており、秩父鉄道のC58形の話では夢中でした。愛用カメラはニコン。日本のカメラを絶賛。

その後、英国の日本鉄道友の会のメンバーのお誘いでお二人は居酒屋へ。日本最良は鉄道ばかりではなさそうです。



日本通のケンさん(左)とマーチンさん(右)。

● 4. デイビッド・モーガンさん

5月7日(水)～9日(金)

2015年秋に日本で開催予定の世界鉄道遺産会議の打ち合わせでデイビッド・モーガンさんが5月7日(水)～9日(金)まで来日されました。会議内容や見学場所などの詰めや会場の鉄道博物館、東武博物館等を訪ねました。8日には歓迎昼食会を顧問等で行った他、東武博物館の英国製蒸気機関車を見学。9日には東武鉄道の花上さんのご尽力でスカイツリーにも上りました。午後は、会議場所の鉄道博物館にも出向き、

運よくC61 20号が試運転を行っており動態保存機ともご対面。盆栽博物館にも立ち寄った後、夕方のN'EXで成田空港へと向かわれ、帰国の途につきました。

短い滞在でしたが、来年の大会によせるモーガンさんの期待は大きいものがあります。保存協会では、体制を整え大会に臨みますが、ぜひとも会員皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

▶デイビッド・モーガンさんを囲んでさやかな歓迎昼食会。モーガンさんは2008年の総会の際に来日されて以来。 2014.5.8



東武博物館で動輪が回る英国製SLを見学。 2014.5.8



慌ただしいなか、スカイツリーにもお出でになった。 2014.5.8



鉄道博物館では偶然にも試運転中のC61 20号機と遭遇！ 2014.5.9



世界会議の会場を予定している鉄道博物館のホールを視察。2014.5.9

鉄道 そして鉄道車両を保存すること

花上嘉成（顧問／東武博物館名誉館長）



所有＝東武博物館／車籍＝東武鉄道という新たな動態保存スキームを実現した8000系8111号編成。

最近、貴重な鉄道車両や建物、そして大切なものが、次々と惜し気もなく消えてゆきます。そんな折、当保存協会を知って参加させていただいたのが、この会と私の始まりでした。

鉄道関係については仕事柄か、特に車両について危惧の念をもっていました。

消え去る運命にある貴重な車両を、なんとかしなければならぬと、気持の中でくすぶり続けていたのです。

保存協会の活動に参加する機会を得るようになって、その大切さと共に、多くの皆さんが大変な努力をされていることを、改めて痛感させられました。個々の保存物（鉄道車両）等を、個人あるいは賛同者・協力者、さらには地域の方々と共に、実に熱心に活動していることを、知ることができました。

単なる趣味ということではなく、並々ならぬことだと頭が下がる次第です。そんな中、微力ながら何か自分に出来ることがないかと改めて考えることが多かったこの頃です。

RPSJ information

1：平成26年度総会について

平成26年度総会は11月1日（土）・2日（日）に片上鉄道保存会（岡山県）を開催地団体として行います。詳しくは7月にあらためてご案内をいたします。

2：山田コレクション調査報告書について

緊急避難的処置として日本鉄道保存協会管理となっている「山田コレクション」の今後を検討する基礎となる調査報告書が完成しました。会員の皆様には後日お送りいたします。

■日本鉄道保存協会 会報 2014年6月号 編集・発行／日本鉄道保存協会

事務局／〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル9階903号 公益財団法人 交通協力会 気付

電話／03-6269-9808 FAX／03-6269-9809 RPSJ.tetsudo.hozon@gmail.com

※常勤者はおりませんので、電話での連絡は下記宛をお願いします。

米山淳一（事務局長）：080-5525-1571

菅 建彦（公益財団法人交通協力会理事長）：090-9101-3267